



Confidence in Motion

～信頼と革新～

富士重工業株式会社
代表取締役社長

吉永 泰之

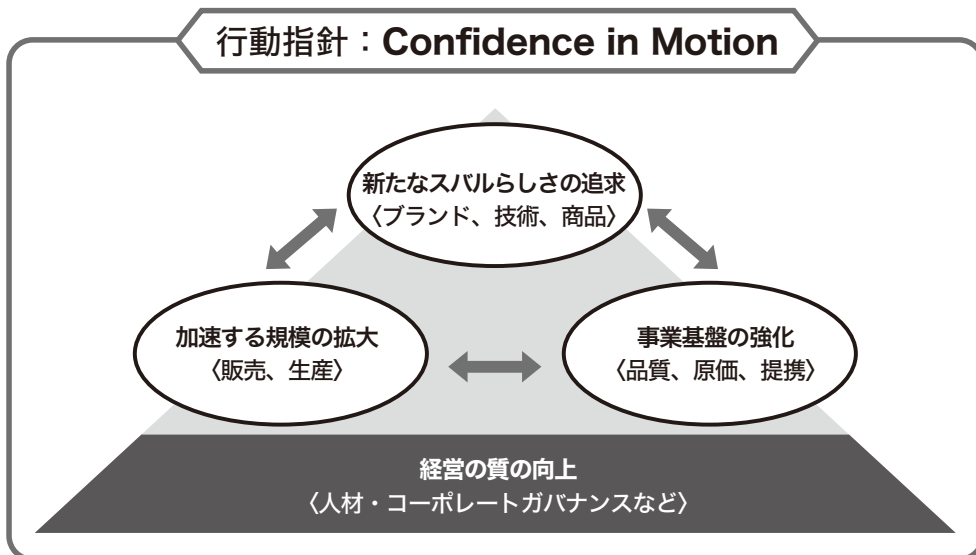
はじめに

スバルは今年、これからの5年間にわたる、新しい中期経営計画“Motion-V（モーションファイブ）”を発表いたしました。スバルは、「存在感と魅力ある企業」を目指し、成長戦略を描き、グローバルブランドとして、市場において確固たるポジションを築くための「基盤固め」に取り組みます。

“Motion-V（モーションファイブ）”の「V（ファイブ）」は、中期経営計画期間となる「5」年間と「5」

つの重点取組テーマを表しており、この“Motion-V”達成のために、我々は、“Confidence in Motion”という言葉のスバルのブランドステートメントとし、また同時に行動指針として、取り組んでまいります。

「Confidence」とは「信頼」です。クルマをつくりはじめてから一貫して築き上げてきた「お客様との信頼」をDNAとして、「in Motion」には、時代およびお客様の変化に合わせて革新し続ける、その意味が込められています。



新たなスバルらしさの追求

“Motion-V”の5つの重点取組テーマのうち、「新たなスバルらしさの追求」について述べさせていただきます。

まず、ブランドについてです。従来の中期経営計画においてもスバルは、「お客様第一」を基軸におき、「快適・信頼の新しい走り」と地球環境の融合」という商品開発の方向性を掲げてきました。新しいブランドステートメントとしての“Confidence in Motion”でも、その基軸と基本的な考え方は変えません。その考えの下、お客様に提供するスバルならではの価値を「安心と楽しさ」と定め、スバルファンの一層の拡大を目指していきます。

スバルは、従来より「走りを極めれば安全になる」という考えのもとクルマづくりを行い、「安全」を強みとしてきました。水平対向エンジンをはじめとした独自の技術により、高い基本性能を実現し危険状態を回避する「アクティブセイフティ」、そして衝突安全の「パッシブセイフティ」、アイサイトによる予防安全「プリクラッシュセイフティ」をあわせ、「ALL-AROUND SAFETY(全方位安全性能)」と称して、安全性の追求に取り組み、高く評価をいただいております。今後もアイサイトの拡大展開はじめ、安全性能の一層の向上により安全のトップブランドを目指します。

また、安全と共に、環境技術にも注力し、この新中期経営計画期間の中で、昨年発表した、燃費性能を高めた新型水平対向エンジンやリニアトロニック(CVT)の展開拡大、車体の軽量化等により30%以上の燃費向上を図ります。

これらの「安全」、「環境」、そしてスバルが得意とする「走り」を加え、商品力向上と商品ラインアップの拡充をはかり、お客様に「安心と楽しさ」を提供いたします。

その新しい商品群の第一弾として、本年4月に米国で発表をした「新型インプレッサ」、そして第二弾となる、トヨタとの共同開発車であるFRスポーツ車「BRZ」を今後市場に導入いたします。ご期待ください。



BRZ

最後に

弊社は本年度からの5年間、お客様との信頼「Confidence」を大切にしつつ、革新「in Motion」し続けます。

そして、2015年度には、世界全体の販売の伸びにあわせ、スバルの世界販売を現在の約65万台から90万台に伸ばし、さらに現在から10年以内には100万台を目指すことで、全世界でのシェア1%を堅持し、グローバルで魅力的で存在感ある企業を目指します。

これからの5年間、そしてその先もスバルは、お客様との信頼をDNAに、革新を続けてまいります。これからもスバルへのご理解・ご協力をお願いいたします。



インプレッサ